

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	8,381	8,960
有価証券	127,256	129,324
有形固定資産	4,024	3,933
無形固定資産	5,988	6,029
その他資産	20,363	19,042
繰延税金資産	6,308	6,684
資産の部合計	172,323	173,975
負債の部		
保険契約準備金	133,246	136,308
支払備金	37,542	37,640
責任準備金	95,704	98,667
その他負債	8,339	7,255
未払法人税等	1,442	1,062
その他の負債	6,897	6,192
退職給付引当金	1,281	1,335
役員退職慰労引当金	44	32
賞与引当金	956	493
特別法上の準備金	149	156
価格変動準備金	149	156
負債の部合計	144,018	145,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	2,586	3,337
株主資本合計	25,976	26,727
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,328	1,666
評価・換算差額等合計	2,328	1,666
純資産の部合計	28,305	28,393
負債及び純資産の部合計	172,323	173,975

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
経常収益	24,759	26,046
保険引受収益	24,432	25,065
(うち正味収入保険料)	24,375	25,048
(うち積立保険料等運用益)	13	16
(うち支払備金戻入額)	43	-
資産運用収益	315	964
(うち利息及び配当金収入)	323	333
(うち有価証券売却益)	6	648
(うち積立保険料等運用益振替)	13	16
その他経常収益	11	16
経常費用	22,636	23,181
保険引受費用	16,598	17,032
(うち正味支払保険金)	11,268	11,734
(うち損害調査費)	1,739	1,805
(うち諸手数料及び集金費)	384	430
(うち支払備金繰入額)	-	97
(うち責任準備金繰入額)	3,205	2,963
資産運用費用	1	-
(うち有価証券売却損)	1	-
営業費及び一般管理費	6,034	6,147
その他経常費用	1	1
経常利益	2,122	2,865
特別利益	-	-
特別損失	6	6
固定資産処分損	-	0
特別法上の準備金繰入額	6	6
価格変動準備金繰入額	6	6
税引前四半期純利益	2,116	2,858
法人税及び住民税	569	932
法人税等調整額	62	118
法人税等合計	632	814
四半期純利益	1,484	2,044

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第 1 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		24,086	24,785	699	2.9 %
(元受正味保険料)		(24,086)	(24,785)	(699)	(2.9)
経	保険引受収益	24,432	25,065	632	2.6
	(うち正味収入保険料)	(24,375)	(25,048)	(673)	(2.8)
	保険引受費用	16,598	17,032	433	2.6
	(うち正味支払保険金)	(11,268)	(11,734)	(466)	(4.1)
	(うち損害調査費)	(1,739)	(1,805)	(65)	(3.8)
常	(うち諸手数料及び集金費)	(384)	(430)	(46)	(12.0)
	資産運用収益	315	964	649	205.4
	(うち利息及び配当金収入)	(323)	(333)	(9)	(3.1)
	(うち有価証券売却益)	(6)	(648)	(642)	(10,688.7)
	資産運用費用	1	-	1	100.0
損	(うち有価証券売却損)	(1)	(-)	(1)	(100.0)
	営業費及び一般管理費	6,034	6,147	112	1.9
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(6,015)	(6,133)	(117)	(2.0)
	その他経常損益	9	15	5	58.5
	経常利益	2,122	2,865	742	35.0
益	(保険引受利益)	(1,817)	(1,898)	(81)	(4.5)
	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	6	6	0	7.8
特別損益	特別損益	6	6	0	-
	税引前四半期純利益	2,116	2,858	742	35.1
	法人税及び住民税	569	932	362	63.7
法人税等調整額	62	118	180	288.7	
法人税等合計	632	814	181	28.7	
四半期純利益	1,484	2,044	560	37.8	
諸比率	正味損害率	53.4%	54.1%	/	/
	正味事業費率	26.3%	26.2%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		89	0.4	42.4	62	0.3	30.4
海 上		-	-	-	-	-	-
傷 害		2,156	9.0	1.0	2,190	8.8	1.6
自 動 車		21,840	90.7	4.4	22,533	90.9	3.2
自動車損害賠償責任		-	-	-	-	-	-
合 計		24,086	100.0	4.2	24,785	100.0	2.9

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		13	0.1	51.3	6	0.0	47.0
海 上		11	0.0	78.0	1	0.0	116.4
傷 害		2,245	9.2	1.2	2,281	9.1	1.6
自 動 車		21,793	89.4	4.4	22,468	89.7	3.1
自動車損害賠償責任		311	1.3	7.6	293	1.2	5.9
合 計		24,375	100.0	4.0	25,048	100.0	2.8

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		0	92.7	46.1	0	398.2	85.0
海 上		12	74.6	108.8	12	203.8	-
傷 害		593	9.7	29.2	609	2.7	29.6
自 動 車		10,359	0.7	55.2	10,813	4.4	55.8
自動車損害賠償責任		303	4.0	97.4	324	6.8	110.6
合 計		11,268	0.9	53.4	11,734	4.1	54.1

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	42,701	45,519
資本金又は基金等	24,682	26,727
価格変動準備金	149	156
危険準備金	91	94
異常危険準備金	14,363	15,160
一般貸引当金	-	-
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,910	2,083
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	502	1,297
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	12,313	12,420
一般保険リスク (R ₁)	10,906	11,026
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	96	98
資産運用リスク (R ₄)	1,416	1,321
経営管理リスク (R ₅)	269	269
巨大災害リスク (R ₆)	1,033	1,032
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$	693.5 %	732.9 %

注。「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第1四半期会計期間(平成28年6月30日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(平成28年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

< 単体ソルベンシー・マージン比率 >

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。

・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク)	：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
予定利率上の危険 (予定利率リスク)	：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
資産運用上の危険 (資産運用リスク)	：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
経営管理上の危険 (経営管理リスク)	：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記 ~ 及び 以外のもの
巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク)	：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。

・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。